

研究室の研究施設・設備について紹介します。実験研究者にとって施設や設備はとても重要なものです。なぜならば、個々人のアイデアが理にかなっているかどうかを実証できるからです。しかし、もっと大事な理由があります。それは未知の新しい世界に研究者を導いてくれるということです。例えば、実験を進めていく中で偶然ですが全く予想外の不思議な現象に出会うことがあります。最初、これらの現象は研究者の予想を否定するものであり、厄介な存在に過ぎません。ここで人は二手に別れます。がっかりして「やーめた。」と放棄するか、興奮して「どうして?!」と夢中になるかです。後者は”本来は不都合な現象”に対して興味を持って解明して行きます。そのうち、自分の予想していたことが完全に間違っていたことに気づかされ、自然界の厳しさを知るようになります。

自然界に赤裸になって真正面から取り組んでくる研究者を自然界は見放さないように思います。真理探究の厳しさを知る頃には、人は”だめではない何か”を知らぬ間に掴んでいて、誰も気づかなかった新世界に飛び込んでいるのです。自然界には人の知らない世界がまだ沢山あります。科学の領域は自然界の氷山の一角に過ぎません。研究設備を用いて実験する中で偶然見つけた「種」は、研究者の好奇心という「水」で芽吹き、創造力という「肥料」で育ち、やがて独創研究という大輪の花を咲かせるのです。その花からこぼれ落ちた種は、その研究室でまた新たな独創研究を生み出していきます。人材育成の面から、研究室は代を繋いで伝統を築いて行くことが大事なのです。